

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす

Rotary : Making a Difference

RI 会長 イアン H.S. ライズリー



少年・少女の夢再び

2017~2018

富津中央RC会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2523 第32例会 2018. 3. 15 晴

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：大網庄一郎 副SAA

ソング：手に手つないで

お客様：ケアセンターさきさき事務長 平野俊彦 様

### 会長挨拶

石渡 鋼 会長



皆さん今日は、漸く春本番の陽気となり、老人性低体温症？のわが身にはあり難いことであります。拙宅の脇の白木蓮の大木も満開となりました。天羽、佐貫方面の方どうぞ例会の行き帰り、ご覧ください。例年より4、5日早いようで、桜も習うかも知れません。

さて本日の会員卓話は、三枝会員のモラロジーのお話と伺って居ります。モラロジーといえは大家、藤村義郎元名誉会員の名声は、我々古手の会員は周知のところでありませぬ。元海軍武官(海軍兵学校江田島一期生・大英帝国勲章授)で終戦時の外交交渉は後に仲代達也主演で映画化された主人公。引き上げ後、部下達の生計の為ジュピターコーポレーションを立ち上げ、貿易業を営みつつ、日

本の将来、特に当時のソビエト連邦の南下政策を察知する。第一次石油ショックから輸送シーレーンの重大さを説き、自ら西大和田の畑にイチゴ栽培を試験し、当時のセイロンを豊かにと、国王の土地でこれを栽培し、アラブ諸国への輸出を計る。又アメリカ姉妹クラブ訪問、25年前最初の会長時の弔辞等々、思いだせば他にもたくさんの薫陶を頂いたこと忘れませぬ。お人柄も元武官という厳めしい表情は全く無く、温和で誰にでも丁寧且つ優しく包み込むような話し方をされていました。我がクラブでは名誉会員という立場でしたが、春秋に聴く当時のアメリカの現況は、山家育ちの若造には興味深く、とても楽しみであり、クラブの誇りでした。

### 幹事報告

神子勝美 副幹事



1. 鴨川RCより「なでしこ2部リーグ戦開幕」の応援例会案内受領  
・日時:3月21日(水) 12:30集合  
・場所:鴨川陸上競技場

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail [home@futtsuchuo-rotary.org](mailto:home@futtsuchuo-rotary.org)



2. 例会プログラム変更について
  - ・4月5日(木)の例会を移動例会に変更
  - ・例会場所:かじや旅館、鋸山
  - ・実施内容:故黒川会員を偲び、鋸山の散策及び鍛冶屋旅館で例会を行う。
  - ・詳細については後日例会にて連絡
3. 勝浦RC創立55周年記念式典
 

4月22日(日)登録12:30 式典13:30
4. 袖ヶ浦RC例会変更
 

3月26日18時 木更津ビューホテル  
家族親睦花見例会
5. 週報受領
 

袖ヶ浦RC、上総RC (回覧)

## 卓話

### モラロジーと私

三枝一雄 会員

(医療法人社団三友会理事長)



#### 1. モラロジーとの出会い

転機を導いた1冊『一冊との出会いが自分の考えを変えてくれた』

『ニューモラル』との出会いは、およそ40年前にさかのぼります。ある日、私の経営する病院に若い女性が緊急入院してきました。彼女は2か月に及ぶ入院中、どんなに辛く苦しいときも「ありがとう、おかげさまで」という言葉を忘れない、素晴らしい心の持ち主でした。

退院するとき、お礼にと、『ニューモラル』を届けてくれました。「特集正義が勝つとは限らない」と書かれた創刊号です。私はそれを一読し、従来の宗教・道徳とは異なる新しい価値観に目を見張る思いがしました。国際間の争いから夫婦げんかに至るま

で、すべてはお互いが譲らず正義を主張しあうために起こるもの。こうした「狭い正義感」を見直し、たとえ自分が正しいと思っても、低く優しい思いやりの心で接することが大切だということです。私はそれまで、病院や家庭内で起こるトラブルを、すべて周囲のせいにしていました。これこそ自分に必要なものとだと思い、モラロジーという学問で自己の品性を磨いていく決意をしました。

自分の考え方が“狭い正義”から“周囲との調和”へと変わっていくにつれ、職場も家庭も円満になっていきました。1冊の『ニューモラル』との出会いから、大きな恩恵をいただきました。これから幾分でもご恩返し的人生を歩んでいきたいと思えます。

・深夜の緊急手術からニューモラルとの出会い

昭和46年5月9日(日) 急性虫垂炎性腹膜炎の22歳の女性 お手伝いさん??

・人生の転機「正義は勝つとは限らない」

・人生の師(藤村義朗先生)との出会い



藤村義朗氏

(株)ジュピターコーポレーション

当時取締役社長

モラロジー研究所社会教育講師

富津市名誉市民

米カールスバット市との姉妹都市

締結

米トーランスRCとの姉妹クラブ締結

海軍大学校主席卒業

天皇陛下より恩賜の軍刀授与

・流水の清濁はその源にあり(貞観政要)

#### 2. モラロジーとは何か

・心新たに生きる

(モラロジー生涯学習セミナーテキスト表題)

・人生の実践哲学

Moralogy は 道徳科学



創建者 廣池千九郎

法学博士

公益財団法人モラロジー研究所

麗澤大学、麗澤高校、麗澤中

学、麗澤幼稚園併設

・道徳科学の論文集、



・総合人間学モラロジー概論



・モラロジーは品性完成の科学である

(廣池千九朗)

人生の目標 → 品性完成

・品性向上は人生の幸福

・よい心でよい事を何回やるか

・一度、品性を得れば、思うことが思うようになる

為すのではなく、成るのである

・品性とは、体力、地位、名誉、金力、知力、学力の

それぞれが結びあつた扇の要

### 3. モラロジーを学んで

・心新たに生きる

・三友会(三枝病院)の歩み

モラロジーによる方針の転換

従業員教育、後継者育成、専門医療の変化

・三枝病院の設立 昭和43年9月15日

・創立の理念

外科・胃腸科の専門病院として近代設備を備え、

ハイレベルの医療を目指す。

理想の看護師像を創り上げる

自由・平等・博愛

・開業後の3年間の苦勞

1) 患者や周囲とのトラブルが多い

2) 職員がじきに辞めたがる

3) 自由・平等・博愛の実践が困難

・従業員教育 → 理想の看護師像

仕事本位 → 恩人本位

(技術習得) (人生の幸福)

・後継者育成 → 病院継続と幸福な家庭

「念ずれば花開く」(坂村眞民)

琵琶湖の麦秋→ ダルマの目

三枝病院40周年2代目院長へバトンタッチ

・専門医療の変化

「外科・胃腸科」 → 「老人医療へ」

・新たに標榜 循環器内科、泌尿器科

整形外科

・老人施設の開設(その1)

介護老人保健施設ケアセンターさきくさ

(平成9年8月オープン)



・老人施設の開設(その2)

特別養護老人ホームウィステリア八重原

(平成26年5月オープン)



・新病院の開設（その3）

三枝病院新病棟建設

（平成30年4月オープン予定）

4. 結び

人生の方針の転換（良き師との出会い）

- ① つくる力(良き人間関係をつくる)
- ② つながる力(よき師、よき友、よき教えに)
- ③ 持ちこたえる力(絆を大切に困難に耐える)



プロジェクターの画面をコントロールする  
ケアセンターさきくさ事務長 平野俊彦 様

講話を聞いて

モラロジーの理念を自らの職業奉仕とボランティアの経験に照らして、講話に感銘した旨、話された。



神子 恒 会員

小野恒靖 会員

千葉県医師会副会長をはじめ全国の様々な分野での役職を経験され、現在もご活躍の恩師、三枝先生の卓話は言葉の一つ一つに、モラロジーで培った心の優しさがにじみ出ていました。



千葉一利 会員

教師には、よくしゃべる凡庸な人、示唆を与え行動する人、やる気を起こさせる人があり、三枝会員はまさにやる気を起こさせる最高の教師です。



ニコニコ BOX

本間英一 親睦担当部員

\*三枝一雄 卓話をさせて頂き、老健事務長平野君 同伴

榎本守男 久々のゴルフで渡辺哲会員よりプレゼントを頂き

鈴木 勉 平野事務長のお手伝いに感謝します

高島治雄 三枝病院の新病院開院を祝して

神子 恒 お話させていただきありがとうございます

小野恒靖 私の恩師でもある三枝会員の講演を心してお聞きしました。

千葉一利 三枝先生発表ありがとうございます

白石幸久 確定申告終わりそうです

\*>1,000円 合計 9,000円

出席報告

鈴木 勉 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/33	23	10		69.70%
前回	34/34	25	9		73.53%
前々回	34/32	24	8		75.00%

編集後記

今日のモラロジーに関する講話で、「品性の向上は人生の幸福」との言葉は印象的でした。人としての品性・品格を身に着けることの難しさと、常にそれを求めて自分自身の人間力を高めることへの心構えを考えさせられました。

(すどう)